

取扱説明書

(保証書一体)

KEURIG®

キューリグコーヒー抽出機 品番 BS300



※この抽出機は「KEURIG K-Cup®」の専用抽出機です。
K-Cup® は必ず規格にあったものをご使用ください。
通常のレギュラーコーヒーやインスタントコーヒーなどもご使用になれませんので、ご注意ください。

もくじ

ページ

お使いになる前に

安全上のご注意	1~2
各部の名称と使いかた	3~4

使いかた

初めてお使いになる前のすすぎ	5~6
<抽出(通常)>	7~8
<抽出(ストロング)>	9
お湯だけを抽出	10
その他の機能	11~13

お使いいただく上で

お手入れ	14
故障かな?と思ったとき	15~16
ワンポイントアドバイス	17
点検のお願い	18
仕様	18

保証書とアフターサービス 裏表紙

このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございます

- ・取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。
- ・ご使用前に1~2ページの「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- ・この商品は一般家庭用、及び店舗のキッチン、事務所、ホテル、その他の住環境において使用することを目的としています。屋外では使用できません。
- ・この商品を使用できるのは日本国内のみです。海外では使用できません。
For use in Japan only.

安全上のご注意

必ずお守りください

あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

- 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を2つに区分しています



警告： 死亡や重傷を負うおそれがある内容



注意： 軽傷を負うおそれや物的損害が発生するおそれがある内容

- お守りいただく内容を図記号で説明しています



してはいけない「**禁止**」の内容



必ず実行していただく「**強制**」の内容



警告

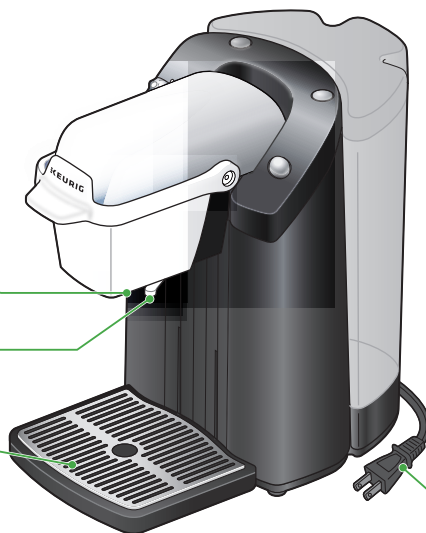
- やけどに注意してください



- 抽出中や抽出完了直後は抽出口・お湯専用抽出口などの高温部に触ったり、顔を近づけない。
・特に乳幼児には触らせないように注意してください。
(やけどの原因)



- カップを置かずに使わない
(やけどの原因)



- 電源コードやさし込みプラグの取り扱いに注意してください



- 定格 15A 以上・交流 100V のコンセントを単独で使う
・他の機器と併用すると分岐コンセント部が異常発熱することがあります。(発火・火災の原因)
・延長コードも定格 15A 以上のものを単独で使用してください。

- さし込みプラグは根元まで確実にコンセントにさし込む
(感電・ショートによる発火・火災の原因)

- さし込みプラグに付いたほこりなどは、定期的に取り除く
・湿気などで絶縁不良となります。(絶縁不良による発火・火災の原因)
→ さし込みプラグを乾いた布で拭いてください。



- ぬれた手でさし込みプラグを抜きさししない
(感電の原因)



- 電源コードやさし込みプラグを破損するようなことはしない
・傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、熱器具に近づけたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。(感電・ショートによる発火・火災の原因)

- 電源コードやさし込みプラグが傷んでいたり、コンセントへのさし込みが緩いときは使用しない
(感電・ショートによる発火・火災の原因)

- 事故を避けるために守ってください



- 子供など取扱いに不慣れな方だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない
(やけど・感電・けがの原因)



- **分解・修理・改造はしない**
(火災・感電・けがの原因) → 点検・修理はキューリグカスタマーセンターにご相談ください。



- **水につけたり、水をかけたりしない**
(感電・ショートによる発火の原因)



- **異常・故障時にはただちに使用を中止し、さし込みプラグをコンセントから抜く**
(発煙・発火・感電・やけど・けがのおそれ)
＜異常・故障例＞
 - ・電源コードやさし込みプラグがふくれるなどの変形や、変色、損傷している。
 - ・電源コードの一部やさし込みプラグがいつもより熱い。
 - ・電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
 - ・本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭いニオイがする。
 - ・動作中に本体から異常な音がする。
 ※点検・修理はキューリグカスタマーセンターにご相談ください。

⚠ 注意

- **以下のような場所では使わないでください**
- **やけどやけがに注意してください**



- **不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使わない**
(火災の原因)
- **火気の近くで使わない**
(火災の原因)
- **壁や家具の近くで使わない**
(蒸気で壁や家具を傷め、変色・変形の原因)

- **さし込みプラグの取り扱いに注意してください**



- **さし込みプラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ずさし込みプラグを持って引き抜く**
(感電・ショートによる発火の原因)



- **使用時以外はさし込みプラグをコンセントから抜く**
(絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因)
- **部品の取り付け・取り外し・お手入れのときは、さし込みプラグをコンセントから抜く**
(けが・やけどの原因)



- **カップなどを置いたまま、本体を動かさない**
(やけどの原因)
- **使用中や使用後しばらくの間、本体を動かさない**
(やけどの原因)
- **抽出中は抽出ヘッドを開けない**
(やけどの原因)
- **抽出ヘッド内側の針、Kカップホルダー内部の針に触れない**
(けがの原因)
- **持ち運ぶ際は、水タンクを空にしてから行う**
(水タンクが落下しけがや水タンクの破損の原因)
- **使用中や使用後は本体などの高温部(抽出口・お湯専用抽出口など)に触れない**
(やけどの原因)
- **お手入れは冷めてから行う**
(やけどの原因)



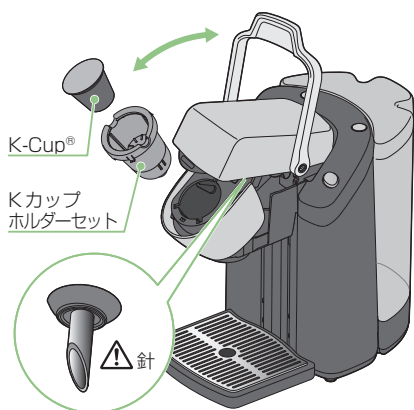
お願い

- ・水タンクに、水あか洗剤を除く水以外(お湯・ミルク・酒など)の液体を入れないでください。(故障の原因)
- ・水タンクの水は常に新鮮なものを使用してください。
- ・長時間お使いにならないときには、水タンクを空にし、本体内部乾燥(P.11)を行ってください。(水の腐敗の原因)
- ・凍結するおそれのある場所に保管する場合は、本体内部乾燥(P.11)を行ってください。(凍結による故障の原因)
- ・使用後はKカップホルダーを洗浄し、ドリフトレーは定期的に洗浄してください。
- ・水タンクを取り外すときに水タンクの底に付着した水が落ちることがありますので、注意してください。
- ・ハンドルや抽出ヘッドを持って移動しないでください。(故障の原因)
- ・温度の低い場所に保管していた場合には、2時間程度あたたかい室内に本機を置いて温めてからお使いください。(本体内部の結露による故障のおそれ、抽出温度が低くなるおそれ)

各部の名称と使いかた



抽出ヘッド・ハンドル



● 抽出ヘッドを開いて、K-Cup® およびKカップホルダーセットの脱着を行う

抽出ヘッドの開きかた
 : ハンドルを持ち上げ、抽出ヘッドを開く。
 抽出ヘッドの閉じかた
 : ハンドルを下げ、抽出ヘッドを閉じる。

⚠ 注意

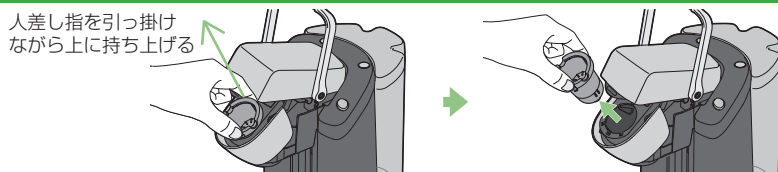
- ・ハンドル以外を持って操作すると、ハンドルに手を挟まれることがあります。
- ・抽出ヘッド内側には K-Cup® に穴をあけるための鋭い針が付いています。

水タンク

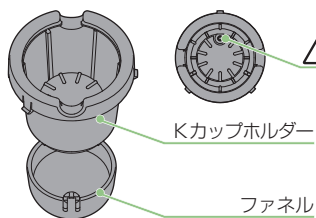
● 取り外し可能

- ・取り付けかた
本体後方の固定用凸部に確実にかかっていることを確認する。水タンクは奥まできっちりと差し込む
- ・取り外しかた
水タンクを垂直に持ち上げる
※水タンクを取り外すときは、必ず電源を OFF にしてください。
※必ず毎回一杯分 (300mL) 以上の水を入れて抽出してください。
※水は抽出したい量より 20 ~ 30mL ほど多めに入れてください。

K カップホルダーセットの外し方



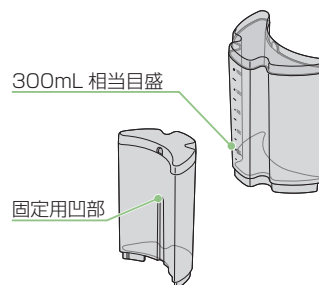
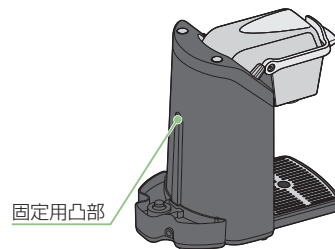
K カップホルダーセット



● Kカップホルダーに K-Cup® をセットする

⚠ 注意

- ・Kカップホルダー内部には K-Cup® に穴をあけるための鋭い針が付いています。けがの原因になりますので、Kカップホルダー内部に指を入れないでください。

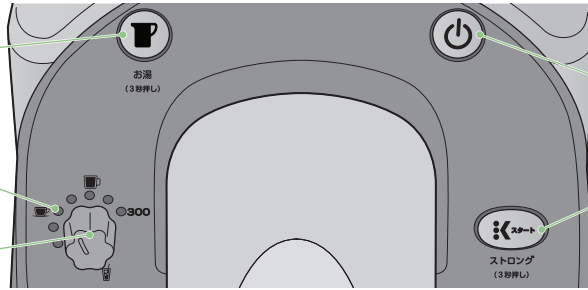


操作部

お湯抽出ボタン

抽出量目盛

抽出量調節ダイヤル
約 70mL ~ 300mL
まで調整できます



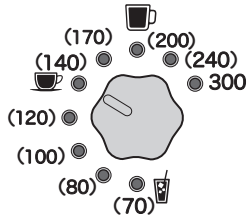
電源ボタン

スタートボタン
通常の抽出開始、
ストロングの抽出
の開始をします

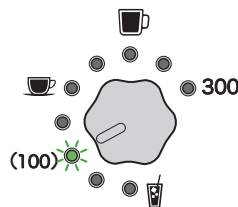
抽出量調節ダイヤル

● 抽出量の目安

※カッコ内の数字は、
本体に印刷されて
いない抽出量の
目安です。

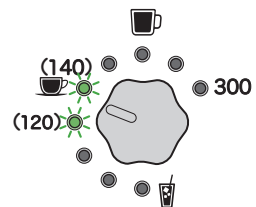


(例) 約 100mL を抽出したい場合



(100) のランプが点灯

(例) 約 130mL を抽出したい場合

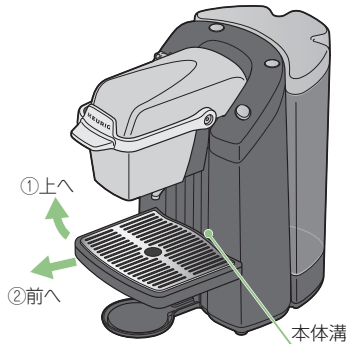
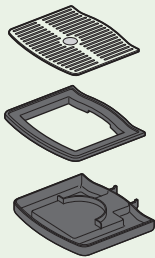


(120) と 140 のランプが点灯

点灯しているランプの位置が抽出量の目安です。
点灯しているランプが 2 つの場合は 2 つの数字
の間の量が抽出量の目安となります。

ドリフトレー (着脱式)

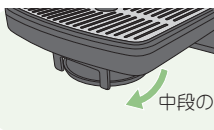
お手入れするときに
分解できます



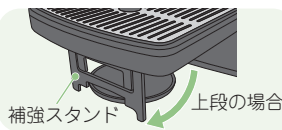
本体溝

・中段、上段でのご使用の場合

ドリフトレーを中段、上段に取り付ける場合は、トレイ裏側に補強スタンドがありますので、立てて使用してください。



中段の場合



補強スタンド

上段の場合

- カップに合わせて、好みの高さに調節可能 (3 段)
- サーモマグなどの背の高いカップにはドリフトレーを外して使用可能 (サーモマグの高さ目安 130mm まで)

・ドリフトレーの取り外しかた

- ① ドリフトレー前方を上方に傾ける
- ② 前方に引き抜く

※ドリフトレー内部に水などが多く入っていると、傾けたときにこぼれますので、こまめに水などを捨ててください。

※抽出完了直後は、ドリフトレー内に熱いお湯が入っている場合がありますので脱着のときは、十分に冷えたことを確認してから行ってください。

・ドリフトレーの取り付けかた

本体溝にドリフトレーのフックを根元までさし込み、前方を押し下げる。

※ドリフトレーを前方に軽く引っ張り固定されていることを確認してください。取り付けが不完全ですと、カップを置いたときにドリフトレーが脱落し、カップの破損やけがの原因となります。

その他の機能

● オートオフ機能 ※詳細は P.11 参照

安全・省エネルギーのため、自動で電源を OFF する機能です。

電源を OFF するまでの時間は切り替えできます。

10 分モード：最終操作後、10 分以上経過すると自動的に電源 OFF

2 時間モード：最終操作後、2 時間経過すると自動的に電源 OFF

● 本体内部乾燥 ※詳細は P.11 参照

長期間使用しない場合や、寒冷地での凍結防止のため、本体内部を自動的に乾燥する機能です。

※乾燥後は本体内部が高温になっているため、乾燥終了後 10 分間は使用しないでください。

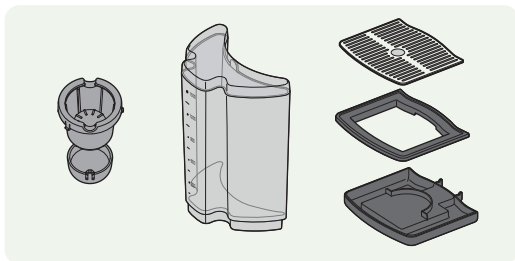
● 水あか洗浄 ※詳細は P.13 参照

長期間使用した時に本体内部に付着する水あかをクエン酸などを使用して洗浄する機能です。

初めてお使いになる前のすずぎ

※長期間お使いにならなかった場合も、この操作を行ってください。

※この操作では、K-Cup® は使用しないでください。

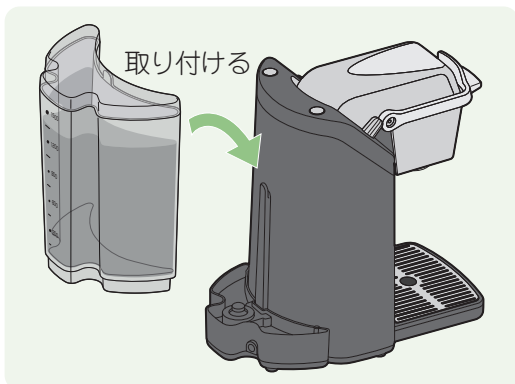


1. 部品を洗う

→P.14

⚠ 注意

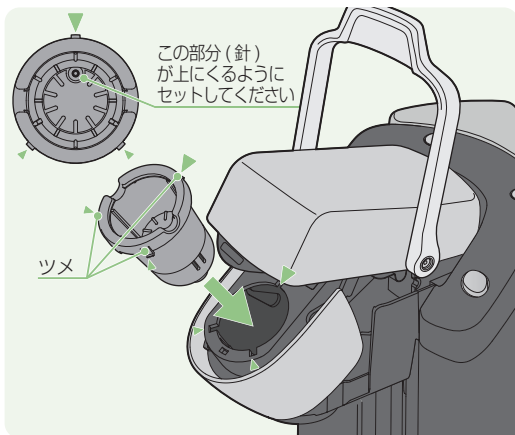
- ・ Kカップホルダー内部には K-Cup® に穴をあけるための鋭い針が付いています。けがの原因になりますので、Kカップホルダー内部に指を入れしないでください。



2. 水タンクに水を入れる

- ・ 水タンクをすすいでください
- ・ 最大目盛 1500 まで水道水を入れる
- ・ 水タンクのふたを確実に閉めてください。

※水タンクは正確に本体に取り付けてください。
取り付け方は P.3 を参照ください。

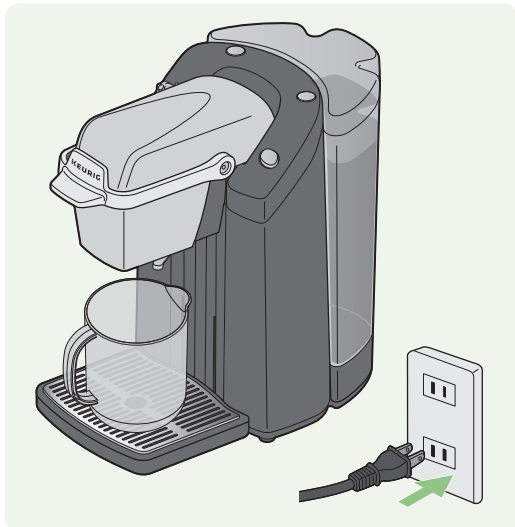


3. Kカップホルダーセットがセットされていることを確認する

- ・ ハンドルを持ち上げ抽出ヘッドを開けて、Kカップホルダーセットがセットされていることを確認する。

※3ヶ所のツメがきっちりとハマっていることを確認ください。
※Kカップホルダーがセットされていないときは、左図のように3ヶ所のツメを合わせて、カチッと音がするように正しくセットしてください。強く押し込むとヘッドが閉じて手を挟みますのでご注意ください。

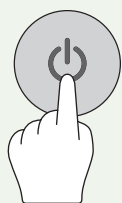
- ・ 確認後ハンドルを下げ、抽出ヘッドを閉じる



4. 少し大きめの容器をドリフトレーの中央に置く

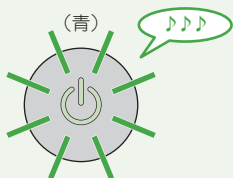
※350mL 以上の水が入る耐熱性の容器を準備してください。

5. 差し込みプラグをコンセントにさし込む



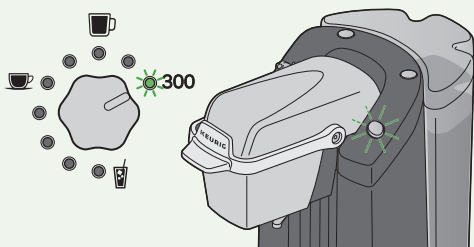
6. 電源ボタンを押す

- ・電源ボタンが点滅する
準備完了になるまで約30秒



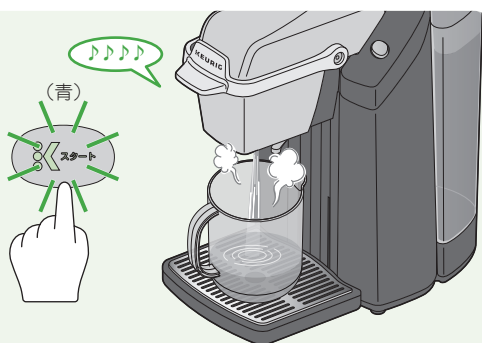
7. 準備完了になると、電源ボタンが点灯し、ブザーが鳴る

- ・電源ボタン以外のランプも点灯します



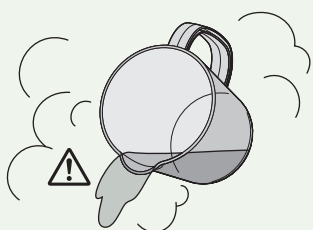
8. 抽出量調節ダイヤルを 300 の位置にセットする

- ・抽出量調節ダイヤルを右へいっぱいに戻す
・約 300mL のお湯が出ます。



9. スタートボタンを押し、抽出する

- ・抽出が始まります
・抽出が完了すると自動で停止し、ブザーが鳴ります。

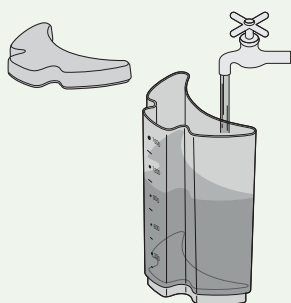


10. 抽出されたすすぎ水を捨てる

⚠ 注意

- ・容器およびすすぎ水は大変熱くなっていますので注意してください。(やけどのおそれ)

11. 9~10 の操作を 3 回繰り返す



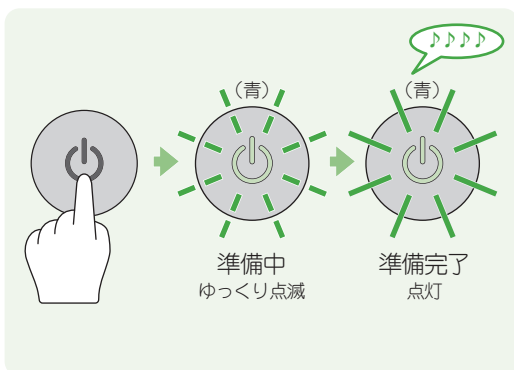
12. 水タンクに水を注ぎ足し準備完了

- 水タンクを取り外すときには、必ず電源を OFF にしてください。

< 抽出 (通常) >

※水タンクの水は、毎日新鮮な水を入れ換えてください。

1 杯目の飲み物を入れる前に、すすぎを 1 回行ってください。

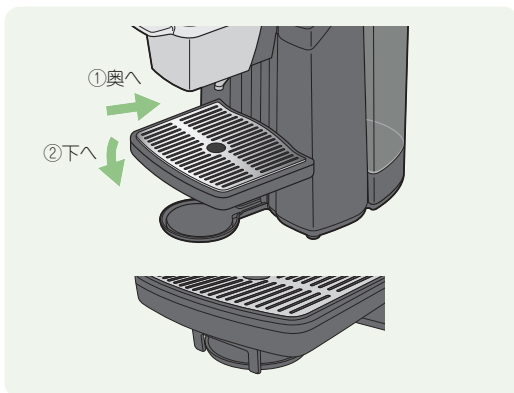


1. 電源ボタンを押す

- ・電源ボタンが点滅する
- ※準備完了になるまで約 30 秒

2. 準備完了になると、電源ボタンが点灯し、ブザーが鳴る

- ・電源ボタン以外のランプも点灯します



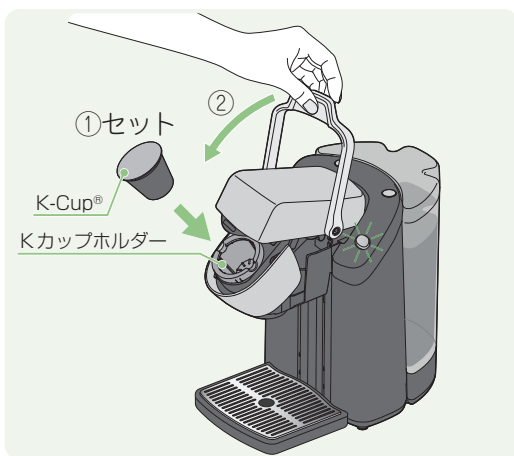
3. ドリフトレーの高さを調整する

- ・使用するカップの高さに合わせて好みの高さに調整する (3 段階に調整できます)
- ※調整した後は、ドリフトレーを前方に軽く引っ張り固定されていることを確認ください。
- ※サーモマグなどの背の高いカップにはドリフトレーを外してご使用ください。
- ・中段、上段に調整する場合はドリフトレー裏側にある、補強スタンドを立ててください。



4. カップをドリフトレーの中央に置く

- ※カップと抽出口の距離によっては、抽出液が飛び散り、周囲が汚れることがあります。

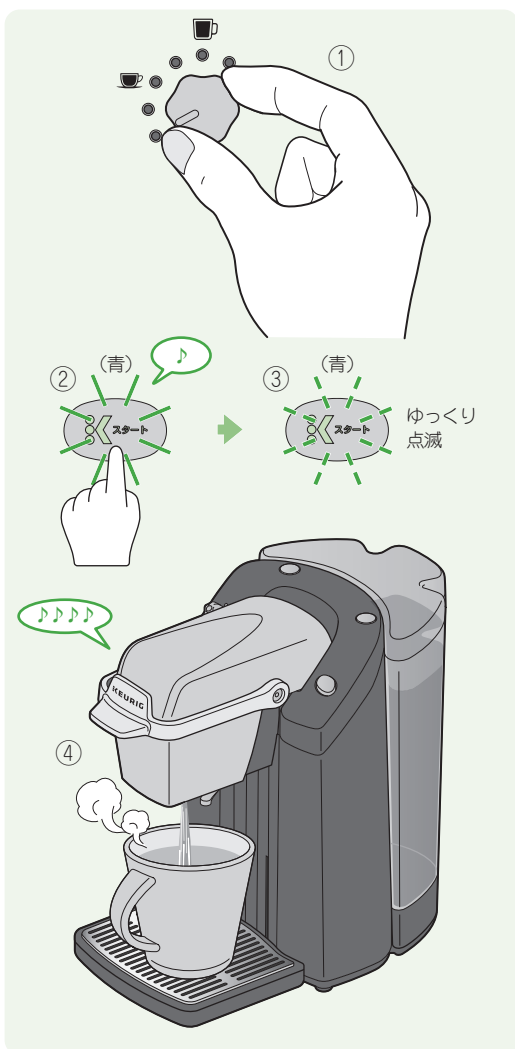


5. K-Cup® をセットする

- ①ハンドルを持ち上げ抽出ヘッドを開き、K-Cup® をKカップホルダーにセットする。
※K-Cup® のフィルムは剥がさず、そのままセットしてください。

⚠ 注意

- ・ Kカップホルダーと抽出ヘッド内部には鋭い針がありますので、針に触れないように注意してください (けがのおそれ)
- ②ハンドルを下げて、抽出ヘッドを閉じる
※抽出ヘッドを閉じるとき、K-Cup® に針で穴を開けるために少し力が必要です。
※抽出ヘッドが確実に閉まったことを確認してください。



6. お好みの抽出量にセットし スタートボタンを押す

- ①抽出量調節ダイヤルを回してお好みの量をセット
- ②スタートボタンを押します
- ③抽出中は抽出量目盛の点滅が移動し待ち時間が分かります。

※コーヒーが飛び散ることがありますので、ドリップトレイの位置を調整して、抽出してください。



ランプが消えると、抽出完了

- ④抽出が完了するとブザーが鳴ります。

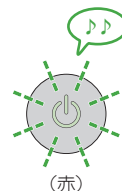
途中で抽出を停止したい場合

スタートボタンをもう一度押すと停止します
※スタートボタンを押した後、7秒後に停止します

途中で水タンクが空になった場合

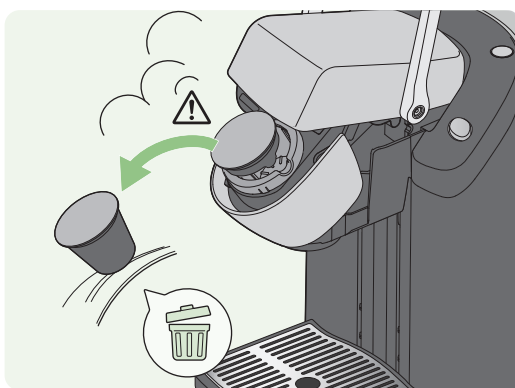
電源ボタンが赤色に点滅します。
水タンクに水を追加し、スタートボタンを押すと、残りの抽出を継続できます。

※電源ボタン点滅後、水を補給せずに5分が経過すると継続抽出はキャンセルされます。



(赤)

使
い
か
た

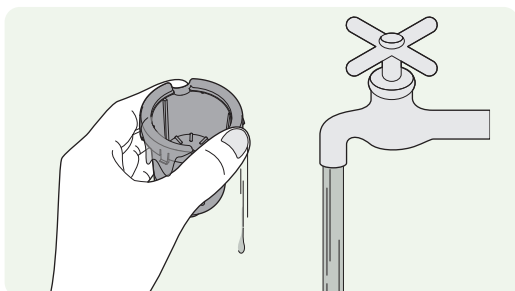


7. K-Cup® を取り出す

- ・ハンドルを持ち上げ抽出ヘッドを開き、使用済みのK-Cup®を取り出し、捨てる

⚠ 注意

- ・抽出完了直後は、K-Cup® やKカップホルダーが熱くなっていますので、注意してください。(やけどのおそれ)
- ・K-Cup® の廃棄につきましては、各地方自治体の廃棄区分に従ってください。



8. ご使用後の片づけ

- ・Kカップホルダーを洗浄する

※Kカップホルダー内部の針にご注意ください

※洗浄後は水分を拭き取るか、十分に乾かしてください。

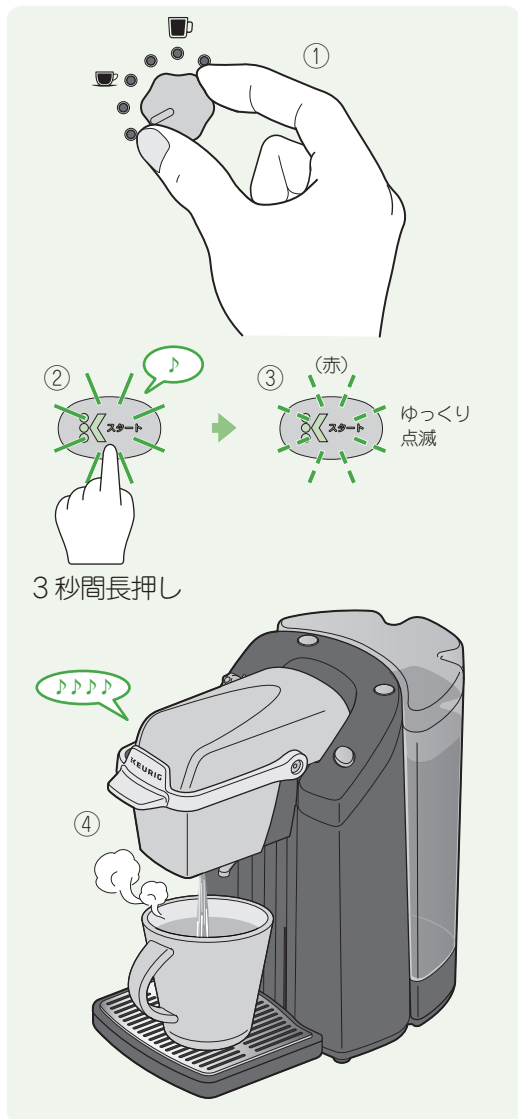
< 抽出 (ストロング) >

※抽出 (ストロング) はゆっくり抽出することで、濃いコーヒーを抽出します。
お好みに合わせてご使用ください。

準備は < 抽出 (通常) > P.8 の手順 1~5 を参照ください。

6. お好みの抽出量にセットし スタートボタンを押す

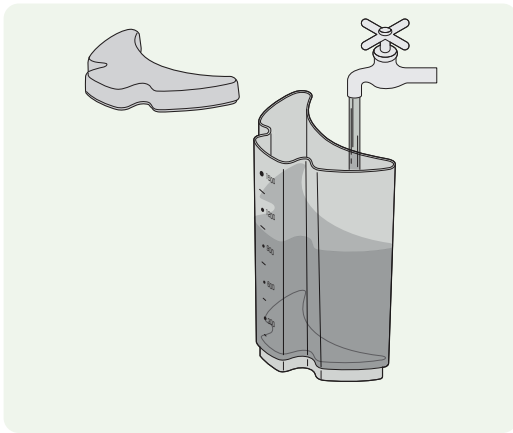
- ①抽出量調節ダイヤルを回してお好みの量をセット
- ②スタートボタンを3秒間長押しします
※コーヒーが抽出されるまで時間がかかります。
※コーヒーが飛び散ることがありますので、ドリフトレーの位置を調整して、抽出してください。
- ③抽出中は抽出量目盛の点滅が移動し待ち時間が分かります。
※抽出 < 通常 > に比べて抽出時間は長くなります。
- ④抽出が完了するとブザーが鳴ります。



抽出後の後片付けは < 抽出 (通常) > P.8 と同じです。

お湯だけを抽出

※水タンクの水は、毎日新鮮な水に入れ換えてください。
1杯目の飲み物を入れる前に、すすぎを1回行ってください。

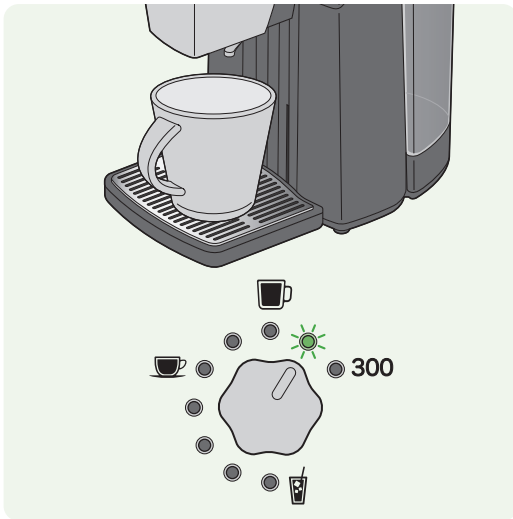


1. 水タンクの水位を確認し、必要に応じて水を足す

⚠ やけどのおそれ

途中で水タンクの水が無くなると、お湯専用抽出口よりお湯が噴き出し、やけどのおそれがあります

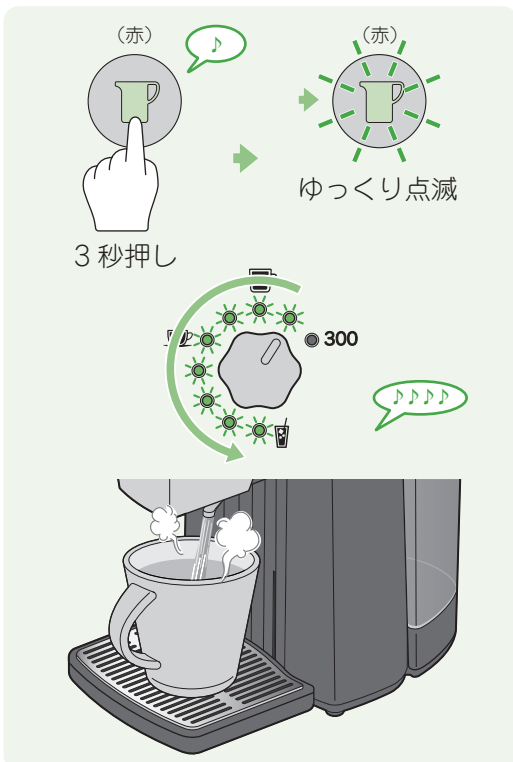
お湯専用抽出口の位置をよく確認しカップ類をドリフトレーの上に置いてください



例) 約 240mL で抽出した場合

2. お好みの抽出量をセットする

- ・抽出量調節ダイヤルを回し、お好みの抽出量をセット



3. お湯抽出ボタンを長押しするとお湯専用抽出口からお湯が抽出される

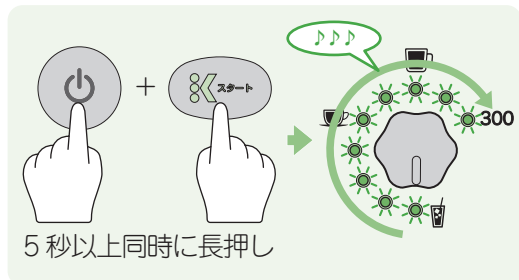
- ・電源ボタンが点灯しているときにお湯抽出ボタンを3秒長押しすると、ブザーが鳴り、お湯が抽出されます。
- ・抽出が完了すると自動で停止し、ブザーがなります。
- ・抽出途中でお湯抽出ボタンを押すと、抽出を停止します。

抽出されるお湯は熱湯ではありません。
ご使用の目的により、適さない場合もあります。

その他の機能

オートオフの切り替え

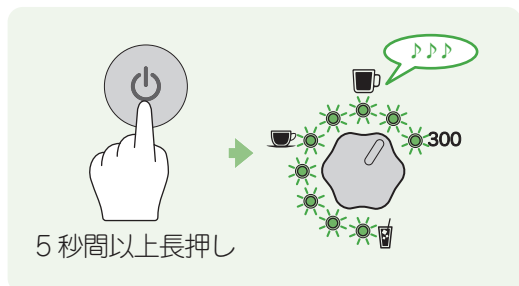
初期設定は 10 分モードになっています



2時間モードに変更する場合

電源が OFF の状態で、電源ボタンとスタートボタンを同時に 5 秒以上長押しする

- ・ブザーが鳴り、抽出量調節ダイヤルのランプが時計回りに 3 回点滅します。



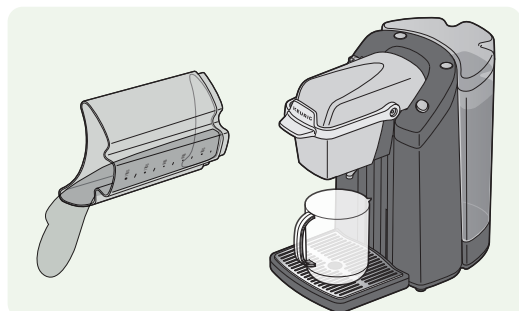
10分モードに変更する場合

電源が OFF の状態で、電源ボタンを 5 秒以上長押しする

- ・ブザーが鳴り、抽出量調節ダイヤルのすべてのランプが 3 回点滅します。

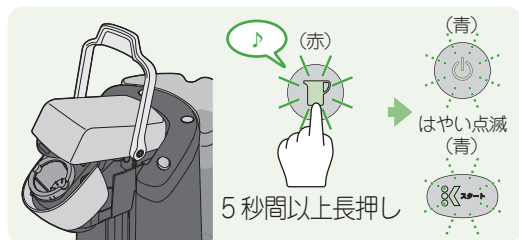
本体内部乾燥

長時間使用しない場合や、寒冷地での凍結防止のために使用してください



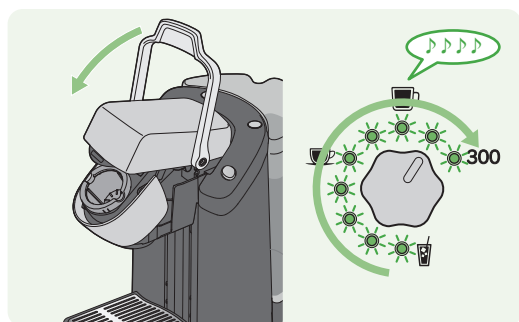
1. 空の水タンクをセットしてドリフトレーの中央に容器を置く

- ・空の水タンクをセットする。



2. 電源が ON の時に、抽出ヘッドを開けたままお湯抽出ボタンを 5 秒以上長押しする

- ・ブザーが鳴り、電源ボタンとスタートボタンが点滅します。

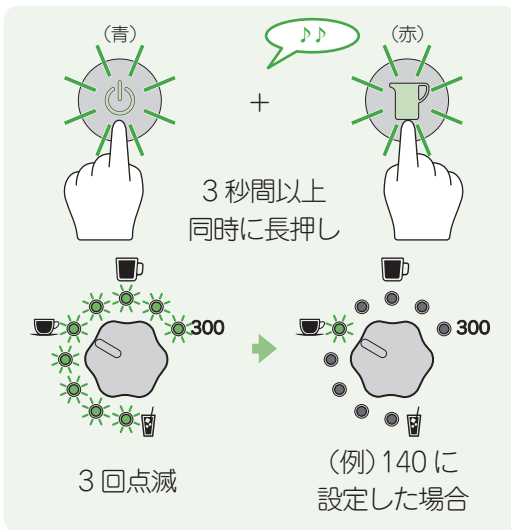


3. 抽出ヘッドを閉じると乾燥開始

- ・乾燥が開始されます。
- ・ブザーが鳴ったら完了です。
- ・容器の水は捨ててください。
- 乾燥時間は約 30 秒です。**
- ・完了後、すべてのランプが消えます。

⚠ 注意

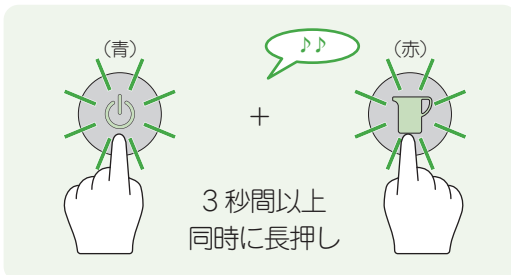
- ・乾燥終了後は本体内部が高温になっているため 10 分間は使用しないでください。



設定

電源がONの時に設定したい抽出量に合わせて電源ボタンとお湯抽出ボタンを同時に3秒以上長押しする

- ・ブザーが鳴り、すべての抽出量調節ダイヤルのランプが3回点滅します。
- ・設定が完了すると、固定した抽出量調節ダイヤルのランプのみ点灯します。
- ・設定後はダイヤルを回しても抽出量調節ダイヤルのランプの点滅は移動しません。
- ・電源をOFFしても、設定を記憶しています。



解除

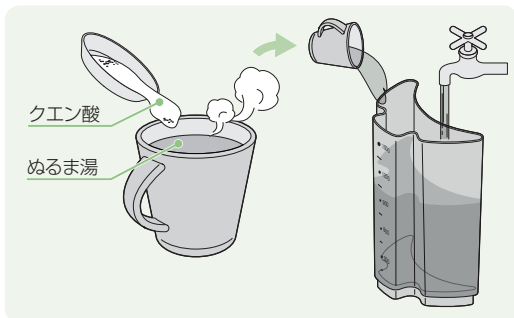
電源がONの時に電源ボタンとお湯抽出ボタンを同時に3秒以上長押しする

- ・ブザーが鳴り解除されます。

その他の機能 (つづき)

水あか洗浄

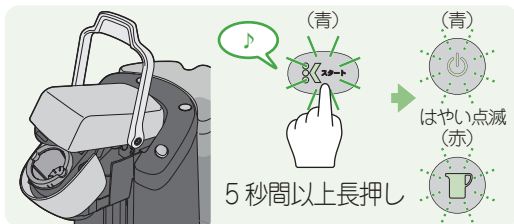
※使っているうちに、水に含まれるミネラル分(カルシウム・マグネシウムなど)が本体内部の水管に付着します。これは、水あかと呼ばれるもので人体には無害ですが、抽出性能を低下させますので定期的に洗浄してください。
※抽出の出具合が悪くなったり、温度がいつもより低くなったと感じる場合は洗浄してください。
※6か月毎に洗浄を行うことが一般的ですが、水質により水あかの付き具合が異なります。ミネラル分の多い水(特に硬水と言われるヨーロッパ産のミネラルウォーター)は水あかが付きやすくなります。
※硬水を使用する場合は、定期的(200杯程度が目安です)に洗浄を行ってください。



1. 洗浄液の準備

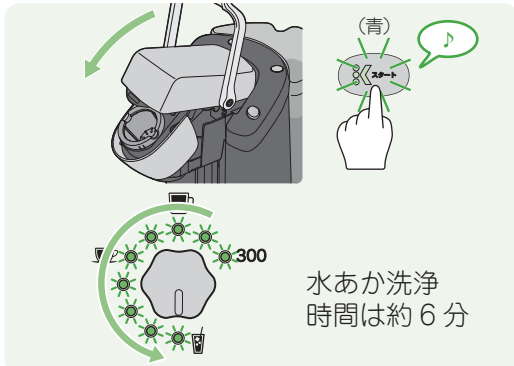
- 市販の電気ポット洗浄用クエン酸 20g ~ 25g と陶器製カップ、ぬるま湯 200mL を用意する
- 準備したクエン酸を陶器製カップに入れて、200mL のぬるま湯で溶かす
- 空の水タンクにぬるま湯で溶かしたクエン酸液を入れ、最大目盛りまで水を加える

※市販洗浄剤は製造メーカー毎に溶かす水の量が異なります。洗浄剤の説明書に記載されている指示に従ってください。



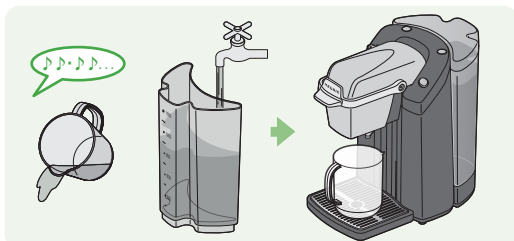
2. 電源 ON の時、抽出ヘッドを開けたままスタートボタンを5秒以上長押しする

・ブザーが鳴り、電源ボタンとお湯抽出ボタンが点滅します



3. ドリップトレイの中央に容器を置き、抽出ヘッドを閉じて、スタートボタンを押すと水あか洗浄開始

- 抽出量調節ダイヤルのランプが 300 から消えていきます。すべてが消えた時点で完了です。
- 容器は 500mL 以上入るものを使用してください。
- 容器の大きさによってはドリフトレーを外してください。



4. 水あか洗浄が完了するとブザーが鳴る 容器の洗浄液を捨てる 水タンクをすすいで新鮮な水を最大目盛りまで入れ、本体へ再度セットする



5. スタートボタンを押すとすすぎ開始 6.すすぎが完了するとブザーが鳴る 容器の水を捨てて完了

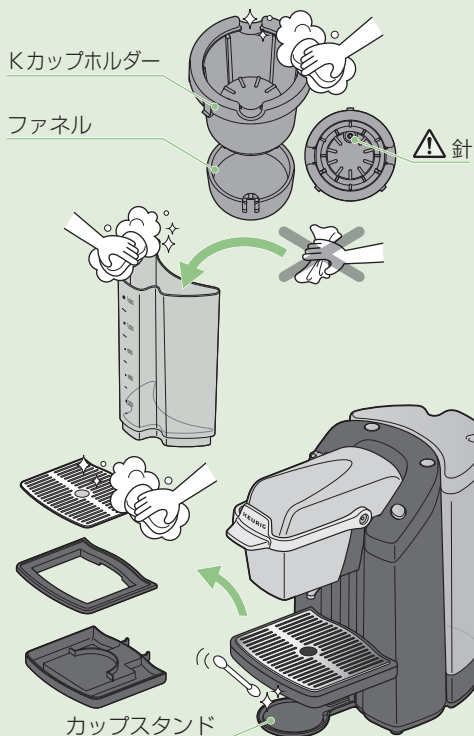
- 完了後は自動的に通常状態に戻ります
- ※クエン酸のにおいが気になるときは、P.5 ~ 6 のすすぎを行ってください。

お手入れ

● 本体外部

- ※さし込みプラグをコンセントから抜き、各部が十分に冷めてから行ってください。
- ※台所用中性洗剤を使用するときは、薄めて使用してください。
- ※食器洗い乾燥機・食器乾燥機・熱湯は使用しないでください。
(変形や故障の原因になります)
- ※漂白剤・ベンジン・シンナー・アルコールは使用しないでください。
(割れや変色・印刷のはがれなどの原因になります)
- ※磨き粉・たわし・スポンジの硬いナイロン面は使用しないでください。
(表面が傷つきます)

毎日のお手入れ



Kカップホルダーセット

- Kカップホルダーからファネルを外しそれぞれ薄めた中性洗剤で洗浄する。
Kカップホルダーの針が詰まった場合、細い針金(ゼムクリップなど)をKカップホルダー外面の底から針の穴に差し込み、詰まっているものを取り除く。
※針はKカップホルダー内部の底にあります。
※針の先端は鋭くとがっていますのでけがをしないように注意してください。

水タンク・水タンクふた

- 薄めた中性洗剤で洗浄する。
※水タンクの内側を布などで拭かないでください。
布の糸くずなどが本体内部に入り込み故障の原因になります。

ドリフトレー・カップスタンド

ドリフトレー

- 各部品を分解し、薄めた中性洗剤で洗浄する。

カップスタンド

- 金属トレーの穴や縁でけがをしないように注意してください。
- 硬く絞ったふきんで拭く。
- 細かい部分は綿棒などで掃除する。

汚れるたび／週に一度のお手入れ



本体内部のすすぎ

- →P.5の『初めてお使いになる前のすすぎ』を参考に1回すすぎを行ってください。

抽出ヘッド内部

- 硬く絞ったふきんで拭く。
前部の細かい部分は、綿棒などで掃除する。
※抽出ヘッド上側の内部には、先端の鋭い針がありますのでお手入れするときは、けがに十分注意してください。
※清掃後は、すすぎを行ってください。
(P.5『初めてお使いになる前のすすぎ』参照)

本体

- 硬く絞ったふきんで拭く。

故障かな？と思ったとき

※お問い合わせや修理を依頼される前にお調べください。

こんなとき	お調べいただくこと	直しかた	参照
電源が入らない	差し込みプラグが外れていませんか？	さし込みプラグのコンセントをさし込んでください	P.5
加熱しない	電源ボタンがはやい点滅（赤）になっていませんか？	水タンクの水が不足しています 水を補給してください	P.6
抽出ヘッドが閉まらない	K-Cup®またはKカップホルダーセットが正しくセットされていますか？	K-Cup®またはKカップホルダーセットを正しくセットしてください	P.5 P.7
抽出ができない	電源ボタンがはやい点滅（赤）になっていませんか？	水タンクの水が不足しています 水を補給してください	P.6
	電源ボタンがおそい点滅（青）になっていませんか？	加熱中です 加熱完了までお待ちください	P.7
	抽出ヘッドがしっかり閉まっていますか？	抽出ヘッドをしっかり閉めてください	P.7
	お湯抽出ボタンと電源ボタンとスタートボタンが点灯（赤）していませんか？	短い間隔で抽出を繰り返すと、内部の過度な温度上昇を防止するため、一時的に抽出を停止する場合があります ⇒3つのランプの点灯が消えるまで（約10分間）お待ちください。	—
	水タンクが浮いていませんか？	水タンクを確実にセットしてください	P.3
抽出が途中で止まる	電源ボタンがはやい点滅(赤)になっていませんか？	水タンクの水が不足しています 水を補給してください	P.6

こんなとき	お問い合わせいただくこと	直しかた	参照
抽出量が少ない	抽出量調節ダイヤルの設定が少量になっていませんか？	抽出量調節ダイヤルを回して、多量方向へ調整してください	P.8
	Kカップホルダー内の針が詰まっていますか？	細い針金(ゼムクリップなど)を針の穴に差し込み詰まっているものを取り除いてください。	—
	K-Cup®またはKカップホルダーセットが正しくセットされていますか？	K-Cup®またはKカップホルダーセットを正しくセットしてください	P.5 P.7
抽出温度がぬるい	室温が低い部屋で使用されていませんか？	一度お湯だけで抽出した後でご使用ください	P.17
	カップが冷たくありませんか？	カップを温めてください	P.17
抽出液に粉が混ざる	ファネル内部に粉が付着していませんか？	ファネルを清掃してください	P.14
	抽出ヘッド内部の針またはKカップホルダーの針表面や針穴に粉がついていませんか？	抽出ヘッド内部の針またはKカップホルダーの針表面や針穴を清掃してください	—
抽出された飲料が臭う	初めて使った場合や長期間保管した後に使っていませんか？	本体内部のすすぎを行ってください	P.6
	すすぎを行っても臭いが無くならない場合	洗浄をお使いください	—
	上記を行っても臭いが無くならない場合	水あか洗浄を行ってください	P.13
抽出中に抽出口以外からお湯が出る	K-Cup®またはKカップホルダーセットが正しくセットされていますか？	K-Cup®またはKカップホルダーセットを正しくセットしてください	P.5 P.7
本体の下から水が漏れる	水タンクが浮いていませんか？	水タンクを確実にセットしてください	P.3
抽出量調節ダイヤルで抽出量の調整ができない	抽出量が固定されていませんか？	抽出量固定を解除してください	P.12

お問い合わせいただく上で

※以上のことをお調べになって、それでも不具合があるときはただちに使用を中止し、キューリグカスタマーセンターにご相談ください (P.18)。

ワンポイントアドバイス

● 抽出温度が低いと感じたら

抽出された飲み物が飲み頃の温度になるように設定されています。

しかし、K-Cup® や飲み物を受けるカップの温度、室温などにより飲み物の温度が低下する場合があります。室温が低い場所でご使用する際は、飲み物を抽出する前に K-Cup® をセットせず、一度お湯だけを抽出してください。

このとき、使用するカップにお湯を抽出すれば、カップも温められ飲み物の温度低下を防ぐことができ、おいしくお召し上がりいただけます。

● 味が薄いと感じたら

薄いと感じた場合は、抽出量調節ダイヤルを少量方向に回し抽出量を調節し好みの濃さでお召し上がりください。

● 使用する水

コーヒーをおいしくいれるために使用する水は、一般的に軟水が良いと言われています。

新鮮な水道水や軟水のミネラルウォーターをお使いください。ミネラル分の含有量の多いヨーロッパ産のミネラルウォーターは硬水です。

(硬水を使用すると本体内部にミネラル分が水あかとして残りやすくなります)

● 一度使用した K-Cup® は再使用しないでください

抽出された飲み物の味の保証ができませんので、ご使用にならないでください。

点検のお願い

愛情点検



安全に長くご愛用いただくために、
日頃から点検をおこなってください

このような症状はありませんか？

- ・電源コードやさし込みプラグがふくれるなどの変形や、変色、損傷をしている
- ・電源コードの一部やさし込みプラグがいつもより熱い
- ・電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする
- ・本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭いにおいがする
- ・動作中、本体から異常な音がする

処置

さし込みプラグを抜いてご使用を中止してください。
故障や事故防止のため、使用せずにお買い上げの販売店またはキューリグカスタマーセンターにご連絡ください。

キューリグカスタマーセンター

電話番号 | ☎ 0120 - 886 - 556
受付時間 | 10:00 ~ 18:00
営業日 | 月~金 (祝日、夏季休業、年末年始を除く)

仕様

電 源	交流 100V 50/60Hz 共用
消 費 電 力	1350W
抽 出 方 式	ドリップ式
製 品 の 大 き さ	幅約 18.0cm 奥行約 31.8cm 高さ約 30.0cm
製 品 の 質 量	約 3.8Kg
水 タ ン ク 容 量	1.5L(水タンク最大水位目盛)
電 源 コ ー ド 長 さ	1.5m

※さし込みプラグをコンセントにさし込んだだけの消費電力は、約 0.2Wです。

※仕様は改善のため、予告なく変更することがあります。

※特定地域(高地、厳寒地など)では、所定の性能が確保できないことがあります。

※この製品は、電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。

海外で使用し故障した場合、アフターサービスや無償修理保証の対象外になります。

保証書とアフターサービス

保証書

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。（消耗品は対象外です）

補修用性能部品の保有期間

- 当社は、補修用性能部品を製造打切後、5年保有しています。性能部品とは、商品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

- **保証期間中の修理**
保証書の記載内容により、修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- **保証期間が過ぎた後の修理**
修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。詳しくは、お買い上げ販売店にご相談ください。

アフターサービスのお問い合わせ

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点などは、お買い上げ販売店またはキューリグカスタマーセンターにお問い合わせください。

KEURIG®

保証書

持込修理

キューリグコーヒー抽出機		品番	BS300
※お客様	お名前	ふりがな	
	ご住所	〒□□□-□□□□	
	電話	() -	
保証期間	本体	1年	※お買い上げ日
			年 月 日から
※販売店	住所・店名		
		電話 ()	

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間経過後の修理は、修理により使用できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。詳しくは、お買い上げ販売店またはキューリグカスタマーセンターにご相談ください。

修理メモ

- ※印欄に記入のない場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。
- 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

【無料修理規定】

- 取扱説明書、本体貼付ラベルその他の注意書きにそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にもとづき無料修理をさせていただきます。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下、輸送などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災、天災地変（地震・風水害・落雷など）、塩害、ガス害、公害、異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。

- (ニ) 車両、船舶への搭載などに使用された場合の故障または損傷。
 - (ホ) 本書のご提示が無い場合。
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入の無い場合、あるいは字句が書きかえられた場合。
 - (ト) 消耗品の交換。
 - (チ) ご使用による容器の汚れ。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

- 保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- 修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規程を遵守させていただきますので、ご了承ください。

株式会社ユニカフェ 〒105-0004 東京都港区新橋 6-1-11